

株式会社橋本建設

石狩市花川南1条1丁目76
TEL.0133-76-2006
http://hashimotokensetu.com



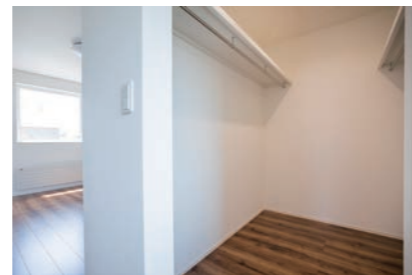
「お客様との信頼関係が第一。何かあればすぐに駆けつけます」と話す橋本さん。



3.木目の凹凸を肌で感じることができる、浮造り加工の飫肥杉の床。4.沖縄のサンゴを使った塗り壁。窓からの光を受けた時の柔らかな雰囲気がい。



5.玄関口の土間部分には床暖房があり。濡れた靴も置くだけで乾燥。靴やコートの収納スペースもたっぷり。6.3階建てで、リビングやダイニング、水回りは2階に配置。1階はガレージと玄関まわりが中心で、余裕のある空間だ。



それぞれの部屋に収納スペースを完備。最も大きなのが、このウォークインクローゼットだ。



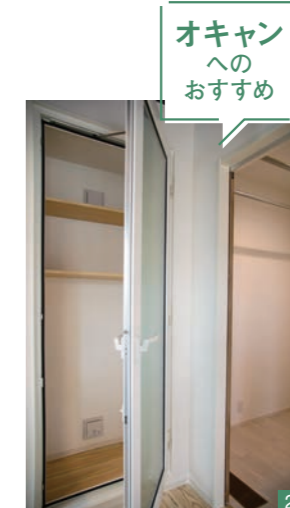
五感で感じるさまざまな自然素材が、心の安らぎを醸す家



リビングからダイニングキッチンを望む。天井の木材をあえて見せることで、自然素材と高さを感じさせる。



キッチン側から見たリビング。木の風合いが、南側の大きな窓から差し込む自然光で一段と映える。



オキヤンへのおすすめ



オトへのおすすめ

1.1階の居室は、階段下を活用した収納スペースが特徴。玄関のすぐ横にあり搬入や搬出も楽なので、趣味の部屋として活用しやすくなる。2.キッチンから浴室などの水回りを近接させ、子育てをしながらの家事動線を意識。断熱しない食品庫の隣に、洗濯機を置く家事室がある。

2階に上がってリビングの床を踏めば、木目の凹凸がなんとも心地良い。「宮崎県の飫肥杉おひびきです。木目の硬い部分を残し、柔らかい部分を削る「浮造り」という加工方法で、立体感のある木の風合いを目と肌と香りで感じることができま。夏はひんやりと、冬は暖かく、素足での暮らしを楽しめるんですよ。」「橋本建設」代表の橋本和幸さんは話す。

「マチナカ木の家」と名付けられたこのモデルハウスは6月に完成したばかり。橋本建設の人気シリーズ「自然素材の家」をベースとして造られており、壁や天井、床などに使われている自然素材が、なんともいえない安らぎ感を醸し出している。リビングの窓側の塗り壁には、沖縄の風化造礁サンゴの塗り壁材を使用。湿度調整や消臭、断熱効果に優れ、健康に影響を与える化学物質のホルムアルデヒドを吸着したり、マイナスイオンを発生したりする効果もあるのだとか。天井の木材を大胆に見せる演出は、木のぬくもりの印象をさらに強くしている。

また、一般的な基準を超える断熱性能の効果は抜群で、室内になると外の暑さを忘れるほど。冬も暖かいはずだ。玄関に床暖房を施工し、冷気が室内に侵入するのを

防いでいる。太陽光発電を活用することで光熱費を大きく削減する。「ニアリーゼハ」の家でもある。同社はZEH(ゼロエネルギー住宅)ビルダーに認定されており、その推進にも務めている。

橋本建設は創業から41年。木造注文住宅の設計・施工などを手がけてきた。受注棟数を競うのではなく、お客様との信頼関係を築くこと大切としています」と橋本さん。施工からの相談には営業マンではなく、現場監督も務める施工担当者が対応するので話が早く、専門的で具体的な提案やアドバイスをその都度行うことができる。施工としても、できることできないことがその場で分かり、今話している担当者が自ら図面を書き、現場まで一貫して見てくれる安心感は大い。何度も話し合いながら納得が得られるプランを作り上げ、施工の暮らし方に合わせた家をつくる。また、現場で作業するのは日頃から同社と信頼関係ができている地元の職人ばかりだ。「一棟一棟により深く関わるので、何棟もできないんですよ。お客様と楽しみながら、心を込めた家づくりを心がけています」。

施工エリアは事務所のある花川から半径およそ50km圏内。モデルハウスの見学予約は問い合わせを。